

学校だより

5月号

令和2年5月14日発行



# さんにし No. 2

大阪市立三軒家西小学校



## 毎日手洗いうがいを!



5月に入り、木々は鮮やかに新緑をたたえ、校庭を吹き渡る風は爽やかな初夏の訪れを感じさせてくれます。

国の緊急事態宣言は5月末まで延長になり、大阪府はまだ特定警戒都道府県に指定されています。大阪市の学校園も5月末まで臨時休業措置が延長されていますが、一部の県では、5月7日から学校が再開されました。一人ひとりのあと少しの頑張りが、これまでの生活へと必ず導いてくれると思っています。もうすぐ、通天閣や太陽の塔が緑にライトアップされ、いろいろな自粛要請も解除されていくことでしょう。

今週から登校日が設定され、久しぶりに学級の友だちと顔を合わすことができました。

友だちの顔を見ると自然に笑顔になり、元気をもらうことができたでしょう。毎日の課題プリントを一人でするのは大変だと思いますが、みんなも頑張っていると思えば力が出ます。分からないところがあれば、登校日に先生に質問してください。

3月からの学校休業中は、しんどいことがたくさんあったかもしれません。しかし、毎日学校に行けること、友だちとしゃべったり、遊んだりできること、家族で外食やお出かけできることなど日常の大切さやありがたさが再確認できました。厳しい状況の中今も保健所や医療関係者の方々をはじめとしてたくさんの方々が私たちの日常を取り戻すために働いておられます。私たちの日常は、いろんな人たちに支えられていることも改めて理解できたと思います。いつも、家族だけでなくいろんな方々にも感謝の気持ちを忘れることなく頑張りましょう。

5月末までの休業で、保護者の皆様には多大なご迷惑やご負担をおかけしておりますが、引き続き、ご協力をお願いいたします。

学校長 大賀 正規

### 三軒家西小学校のみなさんへ

新型コロナウイルスのため、学校はお休み中。また、感染予防のため、おうちにいることが多く、大きなストレスを抱えている人もいるかもしれません。そして、学校がお休みということで、夜中まで起きていたり、朝早く起きることができなかったり、不規則な生活になってしまっている人もいないではないでしょうか。こんな時こそ、早寝早起き、自分の健康を守るためにも手洗い、うがいをしっかりしましょう。下に（コロナウィルスってなんだろう?）を載せました。コロナウィルスを知るための参考にしてください。来週以降の登校日については別紙「臨時休業日中の登校日の実施についてのお知らせ」をご覧ください。6月1日(月)以降については決まり次第ご連絡します。



1

コロナウィルスってなんだろう?

ウィルスは目にみえないくらい小さくて、ヒトや動物に感染しているいろいろな病気の原因になります。



2

みなさんは、ウィルスって知っていますか?

コロナウィルスは、熱・せき・くしゃみなどひきおこす「かぜ」の原因となるウィルスです。



3

今、テレビやニュースで話題になっているコロナウィルスも、たくさんあるウィルスの一つです。



4

手についたウィルスが原因で広がることもあります。

コロナウィルスは、つば・せき・くしゃみによって人から人へと感染します。



5

コロナウィルスにはいくつか種類があるのですが、昨年の十二月に中国でみつけた新しいコロナウィルスによる感染が日本でも広がっています。



6

この新しいコロナウィルス、「小学生」は苦手みたいです。

子供がウィルスに感染しても、なにもおきない、またはちよつとした「かぜ」くらいですむことがほとんどです。



7

重い病気になり、命をおとすこともあります。

しかし、おじいちゃんやおばあちゃん、もともと病気のある人が、この新しいコロナウィルスにかかってしまうと大変です。



8

そのためにできることがあります。

自分を、家族を、またみんなを守るために、コロナウィルスを広げないことが大切です。



9

手あららい... 外から帰ってきたら、まずせっけんで手洗いを! 手についたウィルスを洗いながす。

せっけんをつけて しっかりと洗う!

コロナウィルスやつつけるぞ 作戦①



10

せきエチケット... せきやくしゃみでるときはマスクをつける。または、くしゃみやせきの時、口や鼻をハンカチなどで覆う。

せきやくしゃみは必ず、ウィルスがとちちものをふせぐ。

コロナウィルスやつつけるぞ 作戦②



11

かぜをひいたら家で休む... ねつ、はなみず、せきなどがある時はそにです。家でゆっくりやすむ。

ちゃんと休むことが大切です。

コロナウィルスやつつけるぞ 作戦③



12

家族みんなで、「コロナウィルスやつつけるぞ」作戦をおこなう。

コロナウィルスがひろがらないよう、ひとりひとりが気を付けましょう。

